

「富士見市庁舎整備に関する基本方針（案）」に関する市民説明会
報 告 書

日 時	令和4年2月26日（土）午前10時から11時30分
場 所	キラリ☆ふじみ マルチホール
参加人数	73人
出席者	星野市長（説明・質疑対応） 浅井副市長（質疑対応） 古屋総務部長（質疑対応） 平澤公共施設マネジメント課長（司会） 公共施設マネジメント課 職員6名（説明・受付・質疑補佐等）
概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ（市長） 3 富士見市庁舎整備に関する基本方針（案）の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・全体概要説明（市長） ・詳細説明（公共施設マネジメント課担当） 4 質疑応答 5 閉会 <p>以下、質疑応答・意見の概要</p> <p>【参加者】</p> <p>富士見市の状況を踏まえると、心配なのは、地震よりも水害だと考える。浸水想定区域内にある現在の場所で建替えたとして、防災拠点として機能するのか心配である。</p> <p>そのため、高台にある鶴瀬公民館やつるせ西ゆうゆうの丘公園の場所に建設した方が良いのではないかと。</p> <p>また、防災拠点としての観点から、現庁舎の場所で建替えるのであれば、水害対策に必要なスペースは3階以上、1階・2階は会議室や商業施設にするといった工夫が必要ではないかと。</p> <p>それから、東日本大震災の経験から、災害時には携帯電話基地局の機能を維持する必要がある、1週間ほど電力を供給できる非常用電源設備が必要ではないかと。</p> <p>【総務部長】</p> <p>1000年に1度の大雨が降り、荒川が氾濫した際には、現庁舎の場所は3～5mの浸水深が想定されているように、浸水想定区域</p>

内であることは、現庁舎の場所の課題だと認識しております。

ご提案の高台への移転については、都市計画法上の関係で13,000㎡規模の建物を建設する市有地がなかなかないというのが実態です。

また、仮に用地を取得するとしても多額の費用がかかるため、現庁舎の場所を中心に検討を進めていくという方針を示させていただきました。

水害対策については、現庁舎では、電気設備が地下に設置されているため、建替え時には上層階に設置するといった対策や1階フロア等の考え方を整理する必要があると考えております。

現庁舎の場所は、浸水リスクがある場所ですので、どのような対策ができるのかなど、リスクの軽減させる方策について、今後、検討してまいりたいと考えております。

それから、非常用発電設備については、72時間の稼働が求められるところですが、仕様上は、それに耐え得るものにはなっていないというのが現状です。

ご提案のあったとおり、長時間の稼働を求めるとなると、それだけお金もかかってまいりますので、どのように折り合いをつけるのかという部分も含めて、非常用発電については、検討項目の一つになると認識しているところです。

【参加者】

つるせ西ゆうゆうの丘公園は、5,000㎡あるが、新庁舎が建設できない理由は何か。15階建てくらいのマンションも建っているように思う。

【総務部長】

一つは、現在公園として利用されていることもあると思っております。

また、関係法令を考慮すると、13,000㎡の庁舎を建設することは、難しいと考えています。

【参加者】

調査の結果から、現庁舎は令和12年度に耐用年数を迎えるとのことだが、令和12年度までに供用開始を目指すということか。

それから、概算の建設工事費が70億円ということだが、他にも費用がかかってくると思う。全体の事業費としては、どれくらいを想定しているのか。近隣他市の庁舎の建替えでは、経費がどんどん

増えていると聞いている。

【総務部長】

スケジュールの件については、今回、基本方針の案をお示ししているところであり、来年度と令和5年度で基本計画というものを策定していきたいと考えております。

一般的なスケジュールでいけば、その後、基本設計で1年、実施設計で1年程度かかるものと思います。

また、建設工事で2年程度かかるとなると、現時点での話ということでご理解いただければと思いますが、令和10年度の中での供用開始が考えられると思っております。

しかしながら、設計や建設工事の期間がもっとかかるようであれば、供用開始の時期も後ろにずれるということもあろうかと思っております。

それから、事業費の関係で、70億円という金額を建設工事費の概算としてお示しましたが、ご指摘いただいたとおり、これ以外の経費もかかってまいります。

ご指摘の全体の事業費については、現在のところ、精査できておりませんが、来年度は、基本計画の策定を業務委託で進めていく予定であり、その中で、概算にはなろうかと思っておりますが、可能な限り全体事業費についても精査していきたいと考えているところです。

他市の事例で、事業費が増えているとのことですが、本市といたしましても、近隣の自治体の情報は収集させていただいております。現在、まだ事業を進めている自治体については、詳細な部分は把握できておりませんが、やはり一定の金額がかかってくるものと考えております。

こうした状況を踏まえ、本市においても財政負担の軽減を図るため、基金の設置を議会に提案させていただくなど、準備を進めているところです。

【参加者】

市民は、70億円と言われたら70億円で済むと思ってしまうのではないかと。全体として、概算でどの程度かかると考えているのか市長に聞きたい。

【市長】

70億円は建設工事費としての提示となりますので、先ほどの部長の説明のとおり、これ以外の経費はたくさんございます。

それを示していただきたいというご要望がございましたが、現在は、新庁舎の整備に向け、方向性をお示しした段階でございます。

機能や規模、場所、事業費について、知り得る限りの情報の中で、本日まで積み上げてきたものをお示ししております。

規模については、本市の職員数から、約13,000㎡というものをお示しし、場所については、他に高い土地を買い求めていくのではなく、現在の場所に建設するという方向性をお示しました。

災害の問題についてもご指摘がございましたが、これについては、様々な工夫や高い建築技術を活用して、新たな庁舎を建てましょうといったものをまとめたところでございます。

このように、今回は、基本的な考えをお示したところであり、ご指摘のあった詳細の金額については、これから積み上げてまいります。70億円では済むということではございませんので、これ以上の金額がかかってまいります。それがいくらかということについては、今後の基本計画、基本設計など、事業を進めていく中で、お示ししたいと考えております。

現段階では、約70億円プラスいくらか、というお答えしかできませんが、後から追加で何十億円という金額がかかるということがないよう、今後、私たちが気付かないところもご指摘をいただきたいと考えております。

【参加者】

仮庁舎はどこに建てることを想定しているのか。

また、文化の杜公園に新庁舎を建てることはできないのか。

【総務部長】

基本方針案の中では、現庁舎の敷地を基本として、周辺の土地の活用も検討することとしております。

まずは、現在の敷地の中で、仮庁舎を建設せずに建替えができるのかを検討したいと考えておりますが、なかなか難しい面もあると思っております。

そのため、周辺の土地も含めたかたちで検討ができないかと考えているところですが、その結果、それが難しいということであれば、仮庁舎が必要という話になるかと思っております。

ご質問のあった文化の杜公園については、現在、市民の憩いの場として供用されている状況にあります。

それから、文化の杜公園を含む現庁舎の周辺地域は、市街化調整区域となっていることから、開発行為に制限がかかっております。

そのため、隣接している文化の杜公園に庁舎を移転することについては、法令上の課題があると整理しているところです。

【参加者】

本日の説明を受けて、現在の庁舎は、やはりもたないということによく分かったため、新庁舎は必要なのだろうと思う。

ただし、この説明会がどれだけ市民の方に伝わっているのかなと思うので、これから、事あるごとに、しっかりと市民説明会を設けていただきたい。

今日は、キラリふじみのマルチホールだが、メインホールで行うことも検討してはいかがか。

それから、パブリックコメントに意見を提出してほしいとの話があったが、明後日までの日程となっているので、このような忙しく慌ただしい状況で本当に市民の意見を聞くことができるのかと思う。

そして、先ほど、現庁舎の周辺地域が市街化調整区域という話があったが、富士見市の中心的な地域が、いつまでも市街化調整区域でいいのかと思う。市街化区域にするべきなのではないか。

そのあたり、どのように考えているのか伺いたい。

【市長】

まず、新庁舎の整備について、ご同意いただけたということで、ありがとうございます。しっかりと進めさせていただきます。

そのしっかりと進めていく上では、市民の皆様とのキャッチボールが欠かせないものと考えております。

パブリックコメントについては、2月1日から28日までとしておりますが、本事業に対する意見は、これ以外でも随時受け付けたいと思いますので、市としては、そういう心持ちであたってまいります。

また、市街化区域、市街化調整区域の件ですが、地域のまちづくりを考える上では、まちづくりの基本たる都市計画については、無頓着ではいられないと考えております。

ご指摘いただいたことについては、しっかりと受け止めさせていただきます。

これまで庁内でも議論しておりますので、こうしたものを総合的、相対的に判断してまいりたいと思います。

【参加者】

いま、市長から2月28日以降も意見を聞くという話があったが、そうであれば28日が締め切りとは書かない方がよいと思う。

それから、70億円については建設工事費ということであれば、それ以外にも設計費などの経費がかかると思うが、こうした経費についても専門家なら分かるのではないか。

そのあたりのことは、市民の方に70億円では済まないですよ、きちんと伝えるべきではないかと思う。

【総務部長】

パブリックコメントの期間としては、広報誌等でお示しして、2月28日までということで作らせていただいております。

しかし、これ以降についても、来年度であれば基本計画を立案していく予定であり、建設工事等まで期間がありますので、市民の皆様のご意見については、いつでもいただきたいと考えているところです。

また、建設工事費については、約70億円ということでお示しておりますが、ご指摘のとおり、これ以外の経費がかかってまいります。

そのため、今後可能な限り、こうした経費についても検討を行い、概算ということになるかと思いますが、お示ししたいと考えております。

【参加者】

そうであれば、いくらだと分からなくても、これ以上に経費がかかることを明確にした方がよいのではないか。市民は素人ですから、分かりやすく示すべきと思う。

【総務部長】

今後、大きな費用がかかる事業でございますので、なるべく市民の皆様に分かりやすく、また、適切に情報が提供できるよう努めてまいります。